



国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所

湯沢河川国道事務所 トピックス



【お問い合わせ先】 湯沢河川国道事務所 〒012-0862 湯沢市関口字上寺沢 64 番地の 2 号
地域づくり相談室 TEL 0183-73-5300

平成20年9月26日（金曜日）

大曲工業高校生徒50名が、工事現場を見学！

舗装工事・跨線橋上部工工事

県内直轄初！ワーレントラス橋(旧玉川橋)解体・撤去工事を見学

平成20年9月16日（火）、17日（水）大曲工業高校（土木・建築コース）の生徒50名（1年生35名、2年生15名）が現在施工中の大曲バイパス及び神宮寺バイパスの工事現場を見学しました。

この現場見学は、大曲工業高校のキャリア教育の一環として実施する「地元企業魅力発見セミナー」（あきた産業人材育成支援事業）において、生徒に地元企業の魅力を発見してもらうと共に、職場意識の醸成を促進し、将来の職業選択に資することを目的に行われました。

舗装工事の見学では、現在勉強している中心杭の設置状況の確認や、モーターグレーダ等による路盤の不陸整正状況を見ました。跨線橋上部工工事では、JR 軌道線を跨ぐために採用した「手延機送出工法」による鋼橋架設の状況を見ることが出来ました。老朽化のために取り壊す旧玉川橋の玉川橋旧橋撤去工事では、トラス橋撤去で秋田県内の直轄工事では初めて採用される工法となったトラス（鉄骨）部分を「架設桁上載式撤去工法」により解体撤去する工法を見学しました。

生徒からは「地元で就職した理由」「給料は？」「橋は車の重量で、何トンまで耐えられるか？」「橋の総工費は？」「工事期間は？」「撤去した橋（鋼材）はどうするの？」等の質問が出され、各自が今後、自分の道を選択するため真剣に聞き入っていました。

1 年生における現場見学



☆ 大浦跨線橋上部工工事を見学 ☆
(施工は深夜と聞き、みんなびっくり)



☆ 旧玉川橋解体・撤去工事を見学 ☆



2年生における現場見学



☆ 舗装工事を見学 ☆



☆ 旧玉川橋解体・撤去工事を見学 ☆

***** 感想 *****

- ・ 1つの橋が出来るまで4年もかかるということにとっても驚きました。この会社には、女性の社員もいるという話を聞き、女性も土木の仕事に就く道があるという事を知ることが出来ました。どちらも、特に撤去工事は高く、危険な場所での作業で、思っていた以上に大変な仕事だと思いました。普段はなかなか見ることが出来ない場所なので、見る事が出来、とても良い体験になりました。
- ・ 僕は神宮寺出身で、大浦で橋の工事をしているのを知っていましたが、あんなに苦勞してびっくりしました。橋を近くで見て、すごくむずかしい構造になっていました。それを工事する人たちはすごいと思いました。僕もそういう何十年も残る橋などを造ってみたいと思いました。
- ・ 昨日の見学で、現場で行われている作業がよくわかりました。実際に見ることによって、はっきりしたイメージで伝わってきました。跨線橋の現場では、普段見られないようなところの見学が出来、とても興味深いものを感じました。

実際に現場で働いている方の話を聞いて、1つの橋を造るのにとても長い年月がかかるのに驚きました。今回の見学で、様々なことが参考になりました。今後の進路選択などに役立てたいと思います。



- ・ 自分たちがいつも利用している道路や鉄道は、実際にはかなりの時間と労力を使っていることが分かりました。また、橋の撤去工事は、あの高さの中、命綱一本でやっていてすごいと思いました。今日の体験を今後に生かしたいと思いました。
- ・ 初めて現場を間近で見せてもらってとても貴重な体験になりました。線路の上に架ける橋は、工事中を見せてもらって、技術が詰まっているのを感じました。古くなった橋を撤去している現場は、危ない所で頑張っていると思いました。危険な作業なので気をつけてもらいたいです。
- ・ 授業では習えない事を学べて、とても有意義な体験だった。授業で聞くのと現場で見るとでは随分と違って少し驚きました。